

入試結果

◆普通コース

	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2018年度	240名	48名	93名	1.94倍	192名	221名	1.15倍	—	—
2019年度	240名	48名	96名	2.00倍	192名	211名	1.10倍	—	—
2020年度	240名	48名	101名	2.10倍	192名	211名	1.10倍	—	—

◆理数コース

	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2018年度	40名	10名	8名	0.80倍	32名	35名	1.09倍	—	—
2019年度	40名	10名	19名	1.90倍	30名	34名	1.13倍	—	—
2020年度	40名	10名	13名	1.30倍	30名	26名	0.87倍	—	—

2021年度募集要項

◆普通科普通コース

選抜Ⅰ <募集定員> 40名(20%)
<選抜方法> 調査書・面接+小論文

選抜Ⅱ <募集定員> 160名(80%)
<傾斜配点> —
<学力:調査書> ①ほぼ同等…120名(60%)
②学:調=9:1…40名(20%) (学力重視)
<全員面接> —
<実技検査> —

◆普通科理数コース

選抜Ⅰ <募集定員> 10名(25%)
<選抜方法> 調査書・面接+小論文

選抜Ⅱ <募集定員> 30名(75%)
<傾斜配点> 数学・理科2倍
<学力:調査書> ほぼ同等
<全員面接> —
<実技検査> —

学校情報

●理数コースについて

- 平成15年度4月の入学生から「普通科理数コース」が新設。
- 各学年1クラス40名、合計120名。
- 「数学や理科に興味・関心を持ち、将来は理数系の大学に進学を考えている生徒」に対して、「数学・理科に十分な授業時間を確保し、興味を高め理解を深める」目的で設置されたコース。
- 数学では徹底した少人数指導による一層の学力の伸長、理科では大学の教官による観察、実験を中心とした講義(サイエンスパートナーシップ)を実施。
- 進路としては、国公立大学理系学部学科への進学を目標としている。また、理数科目に加えて英語の学習指導を徹底して行い、「難関大学」への進学も視野に入れた進学指導を実施。加えて数学の学力を高めることによって、経済系学部(経済・経営・経営情報など)への進学も有望

●施設について

- 管理棟のA棟及び理科・芸術科・家庭科の教室を中心としたB棟、本校の特色である理数コースのためのマルチメディア教室・情報処理教室、それに音楽室を連結したC棟からなる校舎群。
- 体育施設として体育館及び格技場、野球のダイヤモンド、陸上競技の300mトラック、サッカーのコート、ソフトボールのコート、それにテニス部とソフトテニス部が活動する8面のコート等を有するAグラウンドとバレーボールコート2面、バスケットボールコート2面、投擲練習場兼ラグビーの練習場を有するBグラウンド。

●教育内容について

- 平成27年度からの「学びの変革」パイロット・スクール「活用コアスクール」の指定に続き、令和元年度から、「高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト」における理数カリキュラム開発に関する指定を受けている。また、社会のグローバル化が進展する中、国際交流を推進する観点から、平成28年2月オーストラリア・ニューサウスウェールズ州のミッチェル・ハイスクールと姉妹校提携を行い、毎年20名程度が短期留学するなど、異文化体験や語学力向上の機会も設けている。

クラブ活動

- 体育系 剣道/サッカー/ソフトテニス/ソフトボール/卓球/バスケットボール/バドミントン/バレーボール/野球/陸上競技/テニス/弓道/チアダンス
- 文化系 吹奏楽/美術/演劇/放送/家庭/理科/英語/書道/イラスト/読書シネマ/百人一首

進路実績

大学の合格実績については、現役生・過年度生の合計人数。

	難関国立大	広島大	国公立合計	早慶上理	明青立法中	関関同立	私大合計	短大	専門学校	就職
2018年度	4名(0)	5名(0)	73名(0)	1名(0)	1名(0)	16名(0)	506名(0)	23名(0)	51名(0)	12名(0)
2019年度	0名(0)	3名(0)	79名(0)	0名(0)	0名(0)	20名(0)	394名(0)	20名(0)	61名(0)	0名(0)
2020年度	0名(0)	2名(0)	63名(0)	0名(0)	0名(0)	18名(0)	487名(0)	22名(0)	40名(0)	7名(0)